

Johann Sebastian Kammerchor Yokohama

ヨハン・セバスチャン カンマーコーア・ヨコハマ 第96回定期演奏会

2020

6/6 (土)

17:30開場 18:00開演
神奈川県民ホール
小ホール

● J.S.Bach

カンタータ第8番

Liebster Gott, wenn werd ich sterben

「慕いまつる御神、何時この身は逝く？」

カンタータ第114番

Ach, lieben Christen, seid getrost

「ああ、愛するキリストの徒(ともがら)よ、
心安らかなれ」

カンタータ第150番

Nach dir, Herr, verlangst mich

「主よ、わが魂は汝を求め」

カンタータ第167番

Ihr Menschen, rühmet Gottes Liebe

「もろびとよ、神の愛をたたえまつれ」



指揮○阿部 純

ソプラノ○阿部 ゆう子
アルト○森山 綾子
テノール○金沢 青児
バス○水野 賢司
オルガン○久保 晃子
藤井 麻理

管弦楽○KMG合奏団

合唱○ヨハン・セバスチャン・
カンマーコーア・ヨコハマ

お問い合わせー 〈ヨコハマ・スチューディオ〉 Tel.090(7286)7905 Fax.045(373)8084 E-mail jskcy@infoseek.jp

〈チケットぴあ〉 <http://pia.jp> Pコード:176-479

JSKCYホームページ <http://jskcy.sakura.ne.jp/> Twitter https://twitter.com/jskcy_1986

前売3,600円 当日4,000円 全自由席 学生券2,000円(事務局扱い、前売りのみ) 未就学児の入場は御遠慮ください。

ヨハン・セバスチャン・カンマーコア・ヨコハマ

JSKCY(ヨハン・セバスチャン・カンマーコア・ヨコハマ)は、J.S.Bachのカンタータ・モテット・ミサ等を全曲にわたり演奏することを目的として1986年故前田幸市郎のもと結成され、これまでに150曲を超えるカンタータ等を演奏してまいりました。常任指揮者:阿部純をはじめとするプロのスタッフによる指導のもと、定期演奏会を基本に活動しております。また4年に1回のドイツ演奏旅行では、アイゼナハをはじめ、オールドルフ、アルンシュタット、ミュールハウゼン、ヴァイセンフェルス、ケーテン、ヴィーデラウ、シュテルムタールといったバッハゆかりの地を訪ね、バッハの足跡を勉強する機会を設けております。

演奏旅行: 第1回1988年10月: 旧西ドイツ・フライブルク他
第2回1992年12月: ドイツ・フライブルク、グロッタータール
第3回1996年 5月: ドイツ・ノイシュタット、フライブルク
第4回2000年12月: ドイツ・ヴォルフラーツハウゼン、
~2001年 1月 フライブルク
第5回2004年12月: ドイツ・フライブルク、ドルンハイム
~2005年 1月
第6回2008年12月: ドイツ・ライプツィヒ、リュネブルク
~2009年 1月
第7回2012年12月: ドイツ・ケーテン、ヴェヒマール
~2013年 1月
第8回2016年12月: ドイツ・アイゼナハ、ナウムブルク、
~2017年 1月 ゲーラ、オールドルフ

6月の定期演奏会では次のカンタータを演奏します。

BWV8番「慕いまつる御神、何時この身は逝く?」ノイマンのコラール旋律に基づく、コラール・カンタータです。死を扱ったカンタータの中では、格別に明るい音楽で満たされています。聴き所としては、特に第2曲のアリアで、死に向かう不安な心が歌われる部分です。(最後の鐘が)響く(schlägt)という単語が休符をはさむスタッカートで歌われたり、憩い(Ruh)という単語が2小節以上長く引き延ばされたりと、言葉をそのまま音にする音画法が使われています。

BWV114番「ああ、愛するキリストの徒(ともがら)よ、心安らかなれ」は、ギーガスのコラール旋律による、これも典型的なコラール・カンタータです。冒頭の合唱にもあるように「心安らかに」という言葉は、曲全体を表しているようです。死は最後には救いであり、決して恐れることはないと言っています。聴き所としては、第2曲のテノールのアリアで、現世を逃げ場のない嘆きの谷として暗い響きで始まり、中間部でイエスに慰めの場所を見つけます。このカンタータで最も長く、フルートのオブリガートを持った表情豊かな曲です。

BWV150「主よ、わが魂は汝を求め」ですが、これは、バッハの現存する最初のカンタータと推定されています。曲の持っている情緒や全体の構成はBWV131やBWV196と強い類似性を感じられ、先達で有るパッヘルベルに対するオマージュであると言う説もある初期のカンタータです。ブラームスは終曲のシャコンヌにひどく感動し、交響曲第4番の終楽章のシャコンヌを書いたと言われていました。

BWV167「もろびとよ、神の愛をたたえまつれ」洗礼者ヨハネの祝日のためのカンタータで、テノールのシチリアーノのアリアから曲は始まります。アルトのレチタティーヴォへとつづき、ソプラノのアリアを経てバスのレチタティーヴォ(先取りのコラールの旋律も出てきます。)と合唱のコラールで締めくくられる簡素な美しいカンタータです。



〈神奈川県民ホール 小ホール〉

神奈川県横浜市中区山下町3-1

<http://www.kanagawa-kenminhall.com/>

◆アクセス

- ・みなとみらい線日本大通り駅3番出口より 徒歩約8分
- ・JR根岸線・市営地下鉄関内駅より 徒歩約15分

団員募集・見学大歓迎!!

- 練習日時 毎週木曜日18:30~21:15
 - 練習場所 大倉山記念館他(東急東横線 大倉山駅下車 徒歩5分)
- 入団または見学をご希望の方は、ヨコハマ 스튜디오までご連絡ください。

賛助会員募集

ヨハン・セバスチャン・カンマーコア・ヨコハマの活動を後援して下さる会員を募集いたしております。2回の定期演奏会にペアでご招待いたします。会費:1110,000円 111以上何円でも…